



青カミシ

烏山北小学校の教育目標

◎すすんで学びよく考える子ども

○豊かな心をもち仲良く助け合う子ども

○すすんで健康な体をつくる子ども

重点目標 みとめあい まなびあい そだてあい

<目指す児童像> 「かしこい子」「らしさを大事にする子」「きりつ正しい子」「たくましい子」

令和6年11月29日(金)
創立72周年 No. 8

烏山学舎 世田谷区立烏山北小学校 校長 河野 芳浩
〒157-0061 世田谷区北烏山6-3-1 TEL3300-5764 FAX3300-5785
学校HP <http://school.setagaya.ed.jp/kata/>



「みとめあい・まなびあい・そだてあい」の喜びと感謝の12月に♪ 校長 河野 芳浩

秋であることを実感できないまま暦の上で立冬が過ぎ、あまり寒さを感じないうちに早々と木枯らし1号が観測されました。校庭のたくさんの木々も季節を知り、桜は葉を落とし、山茶花が咲き始めました。

木枯らし、山茶花と聞いて思い出す童謡があります。「たき火」です。落ち葉を集めてたき火を囲み、みんなであたたまるなんていう光景は、生活の中からすっかり遠くなってしまいましたね。

たき火の歌詞を見てみようかと調べてみると、「作詞: 巽 聖歌、作曲: 渡辺 茂」とありました。お二人の名前にピンときて、先日開いたばかりの本校60周年記念誌を見てみると、そこにお二人のお名前が掲載されていました。お二人は、本校の校歌をそれぞれ作詞・作曲された方なのでした。渡辺さんは、小学校の音楽の先生、巽さんは、「ごんぎつね」の新美南吉さんと親交のあった方とも分かりました。巽さんは、校歌の歌詞を作るために学校を訪れたそうです。昭和30年ごろのことです。当時の小学校の周りには、「たき火」に描かれているような風景がみられていたのでしょうか。学校とのつながりを知ることができ、とても嬉しい気持ちになりました。

木枯らし1号の翌日は、小春日和、そして夏日の陽気に秋晴れの青空とひつじ雲、朝は冬の冷え込みで震える寒さを感じるなど毎日季節をまたぐように目まぐるしく入れ替わる天候に翻弄されながらも暦はすすみ、いよいよ年の瀬を迎えるころになります。2学期もまとめの時になりました。

長い2学期の生活にたくさんの学びがありました。学級学年活動、学校行事など様々な場面での気付き、挑戦、成功、失敗、嬉しかったこと、悔しかったこと、何でもない日の何でもないことも含めすべてが子どもたちにとっての学びとなりました。多くの経験を大切に仕舞い込まずに、それぞれをつなげて、広げて、深めて、分かち合って、さらに新しい挑戦への力や糧にしてけるように、今学期の振り返りの時を楽しんで過ごしてまいります。

2学期の学校教育活動へのご理解とご協力に感謝いたします。ありがとうございました。

今月も子どもたちの限りない成長を願い、学校と保護者・地域の皆さまとの「みとめあい・まなびあい・そだてあい」に励んでまいります。

今月もよろしく願いいたします。

12月うまれのおともだちへ

おたんじょうびおめでとうございませう。2学期さいごの月、冬休みへ向けてラストスパート、何か楽しいことができそうなワクワクがいっぱいのすてきな季節になりました。

みんなのけんこうがささえられて、まいにちたのしくすごすことができますように。

新しく年をかさね、いつもよろこび、つねにかんがえ、すべてのことにかんしゃしながら、新しいチャレンジを楽しんでくださいね。おうえんしています。